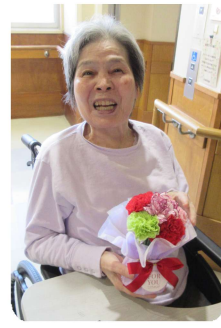


5月11日には、八十八夜にちなんで、春のお茶会を行いました。包括の正田センター長にお点前をお願いし、ボランティアの山本さんにお手伝いしていただき、ゆっくりとお抹茶の優しい味と香りを楽しんでいただくことができました。和菓子は、舛井管理栄養士の手作り♪爽やかな色と味で、大好評でした！



緑の風が心地よい5月。季節をしっかり感じていただこうと、子供の日御膳、母の日御膳の行事食を召し上がっていただきました。母の日には、お花のプレゼントなどが届き、やさしい笑顔がたくさん見られました。



あ と が き
六月の理事会に向けて、事業報告、決算書類の作成が終わり、監事さんによる監査結果をドキドキしながら待ってる。介護部門の収支状況がここ数年重要課題のまま。事業計画が遂行できるよう、経営状況も少しずつでも改善していけるよう去年とは違う動きをしていきたい。
竹

研修報告『結果が変わる重度化予防ケア 入門編』
報告者 高宮絵美【褥瘡予防委員会委員長】
講師 作業療法士 香川 寛氏
（先月の続き）二日目は側臥位や座位姿勢、ティルト式の車いす、リフトについての講義と実技を行いました。側臥位に関して、褥瘡予防でよくある「30度側臥位」についての話があり、実際に体験したところ、とても不安定で普通の感覚では寝られないのを体感しました。重度化予防の観点では90度の側臥位が推奨されており、頭は5〜10度上げ、肩から足は水平になるようにポジションニングする事で体が安定し、寝やすくなり良い睡眠がとれるとの事でした。
座位姿勢に関しては、まず最初に椅子に座り、少し横に傾いた状態を作り、その姿勢のまま十分間過ごす体験をしました。姿勢を維持するのに常に体に入力もつらい体験でした。利用者さんの中によく傾く方がいるように、安定しない姿勢・体勢は体の過緊張に繋がり、拘縮や発汗等よくない状況を生み出すのだと改めてよくわかりました。また良い姿勢をとれている（補勢して）時でも、間で体を動かす（除圧）は必要とのことでした。ティルト式車いすは実際に試乗し、背張りをしっかりした状態で、乗ったまま背張りのテープを外すとどんな感じかを体験し、背張りの重要性を再確認しました。特に腰部分の背張りの調整が重要なこと、アームレストは肩を支える高さにすること、フットレストは座面から太ももが浮かないように調節すること等実際に体験しながら学びました。またティルトとリクライニングに関して、基本はティルトのみを使用する方が良く、円背がひどい方など、ティルトで補えない部分をリクライニングで調整するくらいが良いとの事でした。最後にリフトに試乗し、安定感がとてもあり、身体の力が抜ける感覚があったので、体重的な利用者さんはもちろんですが、拘縮のひどい方ほど、程よく力が抜けて色々な意味で良くなりそうだなと思いました。今回の学びを実際に活用できれば、褥瘡はもとより、いろいろな観点から利用者さんの様々な問題が解決、改善していくと感じました。

五月四日からの一週間、相見様にいただいたよもぎを乾かして、よもぎのお風呂を楽しんでいただきました♪

ありがとうございます

- 相見様、麻生様、山田様、
- 草加様、森石様、川合様、
- 石山様、加藤様
- 中西様（岸様）、多葉井様、
- 日浦様（由良様）、歳秀様、